

熊本県で馬インフルエンザが国内 17 年ぶりに発生

令和 7 (2025) 年 4 月 8 日、熊本県の馬(重種馬)飼養農場 3 戸において、我が国では平成 20 (2008) 年以来となる馬インフルエンザの発生が確認されました。

◇ 発生概要

1 発生確認年月日

令和 7 年 4 月 8 日(火)

2 発生場所及び飼養状況

所在地：熊本県

飼養状況：重種馬（3 戸）

3 熊本県の対応

感染馬の隔離、飼養馬の移動自粛

ワクチン接種指導、施設の消毒等によるまん延防止



◇ 馬インフルエンザの発生・拡大を防ぐために ⇒

馬インフルエンザについてのリーフレットです。

URL : https://jlja.lin.gr.jp/eiseis/pdf/uma/uma_influ



★発生予防対策

1 飼養衛生管理基準の徹底

本病は咳などの飛沫によって伝播します。導入馬は一定期間の隔離を実施し、農場及び厩舎に入る際の消毒を徹底しましょう。

2 ワクチン接種

★早期発見・通報

発熱、呼吸器症状など疑う場合は速やかにかかりつけの獣医師又は管轄の家畜保健衛生所へ連絡してください。

県央家畜保健衛生所 TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 (夜間休日) 090-7205-0895
県南家畜保健衛生所 TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 (夜間休日) 090-7205-1402
県北家畜保健衛生所 TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 (夜間休日) 090-7205-1826